

一般社団法人復興みなさん会

2018年度 活動報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

一般社団法人復興みなさん会 2018年度 活動報告書 目次

2018年4月1日～2019年3月31日

<u>1. 南三陸椿ものがたり復興</u>	・・・	1
<u>2. 新しい市街地におけるコミュニティづくり</u>	・・・	2
2-1. 復興公営住宅に関する取り組み	・・・	2
2-2. 複数の団地が連携した取り組み	・・・	20
2-3. 情報発信・広報を通じた町民活動の支援	・・・	23
<u>3. 南三陸復興まちづくり通信発行</u>	・・・	28
<u>4. 関係主体との情報交換・連絡調整</u>	・・・	31
<u>5. 団体運営に関する事項</u>		
5-1. 総会の開催	・・・	33
5-2. 理事会の開催	・・・	33
5-3. 例会の開催	・・・	33
5-4. 団体情報の発信	・・・	33
<u>6. 決算書類</u>	・・・	34
資料編	・・・	38

1. 南三陸椿ものがたり復興

南三陸町に多く自生しその実からとれる油が生活に使われる等、町民の記憶に様々な形で残る「椿」。大津波や塩害にも耐え生き残ったその逞しい植生から、この町に生き続ける者たちが生き方を学び、復興に向けた希望を共有するため、椿をテーマとした交流・まちづくり活動を継続して行った。

本活動は、以下の助成事業の一環として実施したものである。

- ・トヨタ財団 2016 年度国内助成プログラム（東日本大震災特定課題）助成金（4月～5月）
- ・平成 30 年度おらほのまちづくり支援事業補助金（南三陸町）（6月～3月）
- ・平成 30 年度みやぎ地域復興支援助成金（宮城県）（6月～3月）
- ・東日本大震災現地 NPO 応援基金〔特定助成〕東日本大震災復興支援 JTNP0 応援プロジェクト助成金（7月～3月）

(1) 椿はな咲くまちづくりお茶会

椿の話題をきっかけに町民どうしの交流を図り、新しい町への希望を共有する場として開催した。

※復興公営住宅入居者等を対象として実施。取組内容は、2-1 節「復興公営住宅に関する取り組み」2-2 節「複数の団地が連携した取り組み」を参照。

(2) 椿のまちづくり活動

時期に応じて椿の種拾いや苗木の育成、植樹した苗木の世話等、幅広い層の町民や外部支援者も参加しやすい催事を以下の通り実施した。

※復興公営住宅での取り組みについては、2-1 節「復興公営住宅に関する取り組み」参照。

・椿の避難路 整備活動

日時 8月23日（水）9：00～12：00

場所 上山八幡宮敷地内およびその周辺地域
（南三陸町志津川字上の山）

参加 「福岡大学復興支援隊」等 21名

内容 以前に植樹した「椿の避難路」の草取り作業を行った。



(3) 「南三陸椿くらぶ」の活動サポート

町民団体「南三陸椿くらぶ」と連携し、「椿のきりこはがき」作り等を行う活動を上山八幡宮社務所にて12回（5/12、5/19、6/9、6/30、7/7、8/19、9/24、10/13、1/20、1/27、2/23、3/23）実施した。椿のまちづくり活動の担い手となってくださる方も徐々に出てきており、活動の蓄積の成果が現れてきている。

2. 新しい市街地におけるコミュニティづくり

2-1. 復興公営住宅に関する取り組み

昨年度に引き続き、入居者の意向を尊重しつつ、可能な限り豊かなコミュニティ活動を育むことができるよう、復興公営住宅自治会への伴走支援を以下の通り継続した。

本活動は、以下の委託事業・助成事業の一環として実施したものである。

- ・トヨタ財団 2016 年度国内助成プログラム（東日本大震災特定課題）助成金（4月～5月）
- ・平成 30 年度おらほのまちづくり支援事業補助金（南三陸町）（6月～3月）
- ・平成 30 年度みやぎ地域復興支援助成金（宮城県）（6月～3月）
- ・東日本大震災現地 NPO 応援基金〔特定助成〕東日本大震災復興支援 JTNPO 応援プロジェクト助成金（7月～3月）
- ・三菱重工 みやぎ・ふくしまミニファンド助成金（9月～1月）

これまでの支援を通じて、多くの団地において、一定の住民活動が営まれるようになってきている。今後は、このような活動の水平展開が重要となる。他団地の情報を知ることで、自分たちもこのような活動をしたいといったように、競い合ってコミュニティを活性化できるところまでいければ最適である。「南三陸復興まちづくり通信」が、そのためのツールとしても重要になっていく。

とはいえ、自治会の自走まで、まだしばらくかかりそうな団地がいくつかある。今後は、このような団地に重点を置いて支援を継続していきたい。

(1) 町営伊里前復興住宅

隣接する防災集団移転団地の方との交流が深まるようなイベントの開催や「復興まちづくり通信」を通じた情報発信等を伴走支援した。

① 椿花咲くまちづくりお茶会

(別紙報告参照)

日程 4月17日(火)

会場 伊里前復興住宅 集会所

参加 13名

内容 これまでの椿のまちづくりの活動の報告をしながらお茶会を開催した。





椿のまちがり
お茶会

2018.4.17
PM9:00~10:30

ばい: 歌津・伊里前
復興住宅の
みんなと



13名



満開の
ヤブツバキ

今回は「椿の活動」が
仙居のまちがりコンクールで
大賞を授賞したよ、という
報告の
お祝いお茶会でした!



椿のたぬこ

椿のグッリをたくさんご紹介して
改めて、椿をさがしたまちがりの可能性を
実感しました!



椿の
てぬぐいで
ほがむり♡

美味しく
椿茶を頂きながら
歌ったり、語ったり
楽しい時間を過ごしました

今度は、町の
「モアバス」を活用して
町中をぐるりと巡ったり
どこかにお出掛け
するのも良いですね



みんな ありがとうございます♡

(主催: (社) 復興みんな会)

(2) 町営戸倉復興住宅

常駐するLSAのサポートが有効に機能している一方、自治会の自立という点からは課題の残る団地。仮設住宅時代からのご縁が続いており、外部支援者主催のイベントも集会所を活用して多く行われている。昨年度まで課題であった復興公営住宅と隣接する防災集団移転団地との間の縦割り意識は解消してきているようである。

当方からは、外部支援者のコーディネートや、交流会・外出支援活動の実施、「南三陸復興まちづくり通信」を通じた情報発信等の伴走支援を行った。

①椿はな咲くまちづくりお茶会（第1回）

日程 7月31日（火）午前

会場 戸倉復興公営住宅 集会所

参加 13名

内容 椿をモチーフにした小物作りのアイデアや、モアイバスを活用した「お出かけサロン」で訪ねたい場所について意見を出し合った。戸倉地区を対象にしたマップづくりを提案、今後お茶会やワークショップで地域の情報を収集していくこととなった。



②戸倉・北上・河北ぐるっとバスツアー

日程 9月20日（木）

会場 戸倉復興住宅 集会所発着

参加 18名

内容 モアイバスを利用し開催。地元戸倉の被災地域を見て回り、震災後に地区内に整備された、環境省「南三陸・海のビジターセンター」を見学した。

さらに、隣の石巻市まで足を延ばし、「川のビジターセンター」や市立大川小学校の被災跡地を視察した。



③椿はな咲くまちづくりお茶会（第2回）

（別紙報告参照）

日程 12月5日（水）9：30～11：30

会場 戸倉復興公営住宅 集会所

参加 14名

内容 お茶っこの後、住宅地図をつなげたシートを見ながら、どういうマップが欲しいか、マップにどういう情報が入っていたらいいかといった点についてみんなで考えた。

④椿はな咲くまちづくりお茶会（第3回）

（別紙報告参照）

日程 3月5日（火）9：30～11：30

会場 戸倉復興公営住宅 集会所

参加 16名

内容 「椿油でけんちん汁を作りましょ！」と題して開催。

朝のラジオ体操の後、みんなで大根、人参、ゴボウなどの野菜の入ったけんちん団子を作り、和やかに会食し交流を深めた。けんちん汁には、町内で拾い集めた椿のタネから絞った100%南三陸町産の椿油を使用した。



戸倉 復興住宅の周辺に
お住まいの皆さんへ



椿 けなみ
まちはべり
お茶会、
ご案内

主催 復興お茶会
(社)

みなさん、ズには「お茶会」
梅雨 お天中ですが
時々晴れ間があると、何となく
そだで嬉しくなります
さて、以下の日程で「
椿のまちはべりお茶会」を開催します
涼菓と椿茶を頂きますが
椿のじかんを過ごしませんか？



7月31日(火) Aug:00 ~11:00
復興住宅集会所

お茶会への
はてな?
あはれ

- 戸倉の名所も教えて下さい
- 戸倉の芸能、教えて下さい
- モリイバズでどこに行きましたか?



戸倉 北へくるバス
ご案内

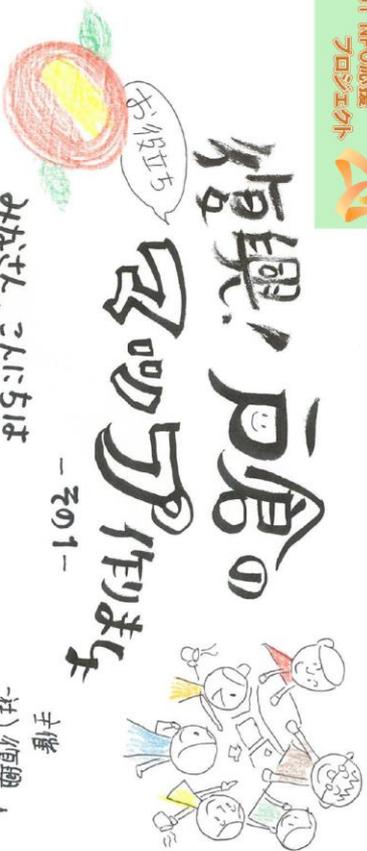
主催 復興お茶会
(社) 090-1904-0800 土曜、日曜

みなさん、ズには「お茶会」
空が高み感じられ、虫の声を聞ける季節になりました
今回は、バスのご案内です
戸倉地区を改めておためしください！という事で、
モリイバスを走らせました。そして、チャペルを伸ばして
お隣の石巻へ、上品の郷(道の駅)で「お昼」
帰り道にはお買物も
先着 20名様です★
参加ご希望の方は 9/13(木)までに申込用紙に
ご記入の上、復興住宅集会所の専用 Box に入れて下さい

日時 9月20日(木) 午前 8:50 集合
午後 2:00 到着
参加費は 100円 (保険料 当日現金)

申込用紙は
お名前
〒 住所 (お名前)
TEL
生年月日

9/20	お名前	〒	住所 (お名前)	TEL	生年月日
戸倉バス					



復興！戸倉の 空吹ろ作りまつ

— 2011 —

みなさん、こんにちは
復興 みなさんへ
さて、今回は、空吹ろ作り
戸倉復興住宅を周辺（主に戸倉地区）の
大きな地図をひらいて
みなさんが欲しい情報をお聞かせます
「戸倉のこと」「伝えたいこと」などなど
考えて下さい、（お喋りのこと、伝説や、特産なども）
戸倉周辺のお祝立ちマップを作って
みたいと思いますので、お楽しみに！！（完成は来年の春を
予定しています）



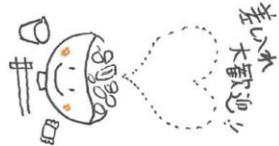
日時 **12月5日(水)** Am 9:30 ~ 11:30
場所 戸倉復興住宅 集会所

あたたかい椿茶と、おいしいお菓子をぜひ味わってください！



戸倉復興住宅のみなさまへ

主催 復興
みなさんへ



日時 **3月5日(火)** Am 9:30
12時 終了後 ~ 12:00

参加料 無料

① エプロンを必ず持参下さい

みなさんこんにちは
二十四節気の晴の上では
雨水を過ぎ、水ぬるむ頃となりました。
もうすぐ「啓蟄(けいちつ)虫たちもう動き始めますね
今回は、椿油を煮て、みなさんへ
けんちん汁を作ります！
けんちん汁は、昨年、町内で「拾い集めた椿の種子(12kg.)を
気仙沼の油絞め屋さんに送って
絞ってもらった100%南三陸産です。
とても美しい黄金色の椿油を、楽しみながら
みなさんへ、あたたかい時間を過ごしましょう！



2019年3月5日、戸倉復興住宅のみなさんと



椿油

でけんちん汁を作りましょり!

2019.3.5 戸倉復興住宅の
AM9:30~11:30 みなさんと

主催/一社)復興みなさん会



まずは

椿ものがたり活動のご報告をしました



椿油を活かして、けんちん汁を作りましょり!



「恋かなんて
思えば
ただの
不正脈」

待っている間は、シバン川柳かるた大会をしました



始めに
椿油を
入れて

ごぼうを
炒めましょり



みなさん
段取り良く
あつという間に
完成です!!



みんなそろって頂きましょり!
手作りのお弁当も加わって
心も体もほおがほかに

今回の椿油は
気仙沼市の「椿屋食品さん」に
みなで拾った種を送って
絞って頂いたものです



いつか ごぜん
椿御膳

のよくな
食文化が
この町に広まら
ずてましょり

っん

(3) 志津川中央復興住宅

当初、「自治会」の捉え方に入居者内で大きな差があった団地である。1つの考え方は自治会を新年会や総会といった特定の機会だけに活動する震災前の在り方に戻すという考え方であった。もう1つは仮設住宅時代の経験を活かし、日常的な交流機能を持った新しい自治会へと変えていこうというものであった。この両者が自治会設立時に感情的に対立した結果、自治会設立後も、自治会のキーパーソンたち（自治会長や役員）が本格的な交流活動の展開に躊躇する姿が見られていた。

このような状況を背景として、入居者・当事者ではない、第3者（＝当会）が関わって以下のような活動を展開することで、住民間の意見の相違・対立に触れない形で、交流機能を提供する環境を生み出すことができた。さらに年間を通じて伴走支援を進めた結果、自治会のキーパーソンが主催事業を自信を持って企画するに至った。自治会や入居者有志が主導して、地域の交流機能や見守り（通学路等）活動、外出交流活動が動き出す状況も見えてきており大きな成果であった。

① 椿の花流しバスツアー （別紙報告参照）

日程 4月12日（水）

会場 志津川中央復興住宅 集会所発着

参加 14名



② 椿はな咲くまちづくりお茶会（第1回）（右写真）

日程 7月12日（木）

会場 志津川中央復興住宅集会所

参加 12名



③ 椿はな咲くまちづくりお茶会（第2回）

日程 9月25日（月）

会場 志津川中央復興住宅集会所

参加 10名

④ 草刈り作業～芋煮会

日程 10月14日（日）

会場 志津川中央復興住宅集会所・集会所前広場

参加 90名



⑤椿のたねっこ拾い&まちめぐりバスツアー

(別紙報告参照)

日程 10月18日(水)

会場 志津川中央復興住宅 集会所発着

参加 20名



⑥おさがりくるりん会(子ども服のお下がり会)

(別紙報告参照)

日程 10月28日(日)

会場 志津川中央復興住宅集会所

参加 40名



⑦椿のたねっこ拾い(第2回)

日程 11月17日(金)

会場 南三陸町内(歌津地区等)

参加 10名

⑧椿油でけんちん汁&チラシ寿司パーティー

(別紙報告参照)

日程 3月2日(土)

会場 志津川中央復興住宅集会所

参加 18名





椿の花がたくさん咲いていました ♪

今年はおもて年」の
ヤブツバキ ♡



モアイバスで行く!

椿の 14名

花がし
バスツアー

2018.4.12
中央復興佐々
みさんと。



上山八幡宮の
御神橋にて

落ち椿と
たくさん
拾いました



こちらは戸倉神社です
ちいなお客様も
椿とたのしみ春なので



拾った椿は
入谷の 雲南神社の 前の
八幡宮りに流してお祈りをしました



春の山菜てんぷら御膳を
みんなで美味しく頂きました

お昼は「はっかり茶屋」にて



それから三滝堂の道の駅で「お買い物」を
楽しみ、帰路につきました! みなさんありがとうございました!!



志津川・中央復興住宅を囲い周辺に
お住まいの皆さん

椿 ^{つばき} けな味
まちづくり
お茶会 ^{おちゃかい} の
ご案内 ^{ごあんい}

主催 復興みずたん会
(社)



みなさん、こんにちは♡
梅雨 さい中ですが
時々 晴れ間がある、何ともし
そだけで嬉しくなりますネ
さて、以下の日程で
椿のまろがりお茶会を開催します
涼菓と椿茶を頂きますから
椿のしぐんを過ごしませんか？



7月12日(木) Aug:00 ~11:00
志津川中央復興住宅 集会所

みなさんへの
はてな?
あなこれ

- 最近の暮らしが改善したよ、あるかな?
- そPイベントで 遠出するね、どこに行きたいかなあ?
- みなさんの 暑さ対策、 湿気対策 教えてほしいなあ ...

中央復興住宅にお住まいのみなさんへ

あったか〜い
芋煮会 ^{いもにがひ} の
ご案内 ^{ごあんい}

主催
志津川中央
自治会
・(社)復興みずたん会

みんなをよろこばせよう



みんながで 美味しい 和えを
作りましょ



7月14日(日)

午前 11:30~(お茶上がり次第)

中央復興住宅 集会所 前の中庭にて
(雨のばあいは 集会所前カベです)

作る人も 食べる人も
みんながで わいわい にぎわがに



上の山の
椿の避難路

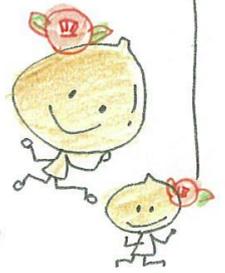


南三陸 椿[🍊]ものがたりシリーズ^{つばき}

2018.10.18

椿[🍊]のたねっこ拾い
つばき バスツアー

中央団地のみなさんと... 総勢 20名
主催: (一社) 復興みなさん会



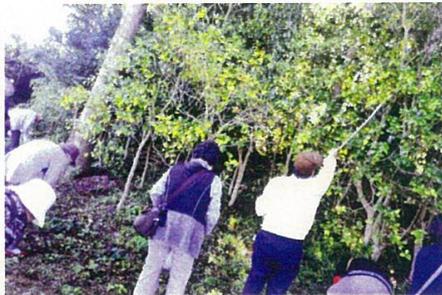
① 秋の実りが
たわわに
ゆれていました



ほらみこめて
椿の葉が
成ってるよ!



② 中央団地のみなさんと
椿のたねっこ拾いを
しました!
まずは上山八幡宮へ



③ 次に戸倉神社へ

④ 戸倉の椿の実は
とても大きくて
まだまだ沢山
成っていました!!



⑥ なんとおで500円!?
味付き飯と
てんぷらで
お腹いっぱいになりました

⑤ お昼は入谷の ばちり茶屋で



⑧ この日
拾った種は
なんと

6kg!
昨年の
3倍です

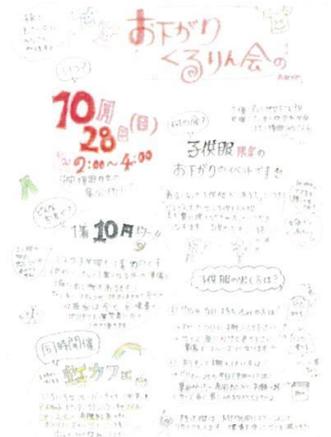
お楽しみは
つばき

⑨ (他にも黒連の津龍院にも行きました)

お下がりくるりん会 レポート

中央復興住宅
サポ+活動

2018.10.28(日) PM2:00~4:00 中央復興住宅集会所にて。



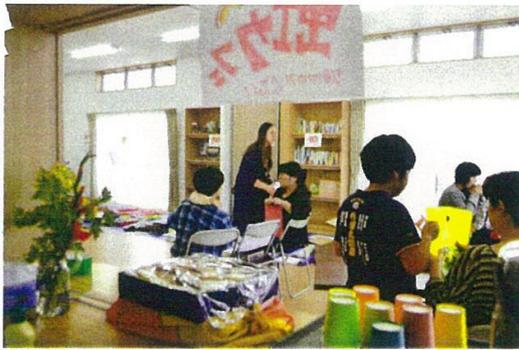
共催: (一社)復興みなさん会
志津川中央自治会
志小9区地区PTA

秋日和の良日に 初めての
お下がりくるりん会を 開催しました!

300着以上のお下がりの服が集まり
どれも 1つ 10円で お下がりしました

この日は産養フェアなど
複数のイベントと重なりましたが、それでも
40名くらいの方が訪れました(親子と)
案内を工夫すれば、もっと来てくれたらいい

差し入れで
シフォンケーキも



運賃くんママ
が持ちこたさまでした



売り上げは1160円でした (116枚分)

中庭で
あそび回る
子どもたち



2時から始まる
虫エカフェアは 😊
いつも 満員
子供たちが集まる
機会を、もっと
増やしてあげたいと
感じました(誰か見つけた)

次回は来年の5月に
開催したいのでです



今回
お下がり
頂いた
志津川9区
PTAの
みなさん
ありがとう
ございました!

つづく

2019年3月2日(土)
ひなまつりを前に
中央公営住宅にて ちらし寿司を作りました



けんちん汁に使うのは 椿油です!



気仙沼の椿屋食品さんに絞ってもらいました!

去年の秋に
みんなで拾った
椿のたねは
14kg!
そこから
2Lの椿油がとれました!

椿油でけんちん汁 & ちらし寿司パーティ

2019.3.2
場所: 中央公営住宅
参加者: 18名

— 復興みなさん会・笑福会・南三陸椿くらぶ —



お腹いっぱい頂いた後は、歌のじかん
心も体も満たされました!



南三陸椿くらぶのみなさんと
笑福会のみなさんと
みんなで
あったかいお昼を
頂きました!



里菜は
なみよし農園
ありがとうございます
ごまはかせ!



本春ご膳というのも
南三陸の食文化になりそうですネ!

っく

(4) 志津川西復興住宅

「南三陸復興まちづくり通信」を読まれ、他団地の活動について知り、ぜひうちの団地でもということ、要望をいただいた。復興公営住宅と防災集団移転団地、既存団地が隣接している地区であり、相互の融和を意識して支援した。

①椿はな咲くまちづくりお茶会

(別紙報告参照)

日時 8月24日(金) 10:30~11:30

会場 志津川西復興住宅 第2集会所

参加 16名

復興公営住宅に加え、隣接する防災集団移転団地や、既存団地の方も参加し、和やかな懇談となった。



平成30年度 南三陸町おらのまちづくり支援事業 補助事業

志津川西復興住宅にお住まいの皆さんへ
(及び周辺)

椿はな咲く まちづくり お茶会 のご案内

主催
(社) 復興
みなさん会
☎ 0226-46-3453

みなさんこんにちは
今年の夏は本当に暑くて
全国的にも大変でしたね
一方では大雨も…
みなさん毎日どうかお体ご自愛下さい
と、いうことで今回は
冷たいお菓子と椿茶でお邪魔したい
と思います ぜひお気軽にご参加下さい!

美味しい
大歓迎です
"笑"

8月24日 AM 10:30
~11:30
志津川西復興住宅 第2集会所にて

お茶会
じかんわり

1. ごあいさつ (椿のまちづくり報告)
2. かんぱい (椿茶で)
3. お茶っこタイム (モアibusで 行きたいところはどこですか?)

☎ 3

椿はな咲くまちづくり レポート

2018年 8月 24日 AM 10:30 ~ 11:30
(金)

西復興住宅 第2集会所にて
 参加者 12名 (防集7、公営3、既在2)
 LSAさん 2名
 ボランティアさん (心のケアセンターより) 2名
 みなさん会 2名 総勢18名

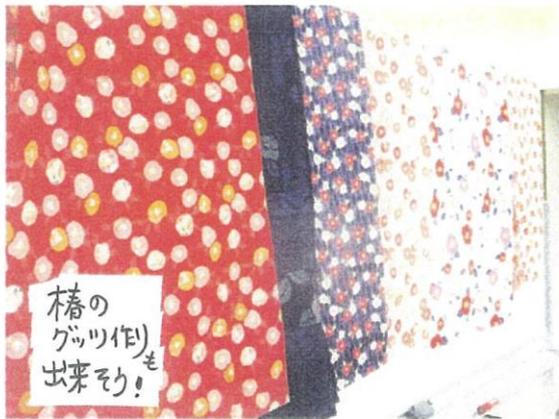


初めての西団地 (西の西) で
 椿のお茶会を開きました!!



心のケアセンターのお二人が
 がみしばいを上演していただきましたので
 椿のお茶会は、その後に
 お邪魔しました

椿のお茶会は、初めて、という方ばかり!!
 改めて、これまでの物語をお伝えできました!



椿の
 グッツ(作)も
 出来そう!

どこに行きたい?

モイバス → リンゴ狩り 岩牛県 (たてがもり) に 10月頃 を

希望されて
 いました!

AM 9:00
 ~10:30
 梨狩り

11:30
 ~12:30
 講話



今年も、福岡大学生 21名 が協力して下さいました!!



予定していた
 草刈り作業の
 購入が
 間に合わず
 殆どの方が
 草取りして
 下さいました

椿の下草刈り作業

2018.8.23. AM 9:00 ~ 12:00

2-2. 複数の団地が連携した取り組み

コミュニティの一体化に向け、高台移転団地の住民と復興公営住宅入居者がともに参加できるイベントを開催、両者が互いに顔を合わせ、コミュニケーションを深められる場を提供した。

本活動は、以下の助成事業の一環として実施したものである。

- ・平成30年度おらほのまちづくり支援事業補助金（南三陸町）（6月～3月）
- ・平成30年度みやぎ地域復興支援助成金（宮城県）（6月～3月）

①町内ぐるっとバスツアー（志津川西地区）

（別紙報告参照）

日時 10月11日（木）9：00～15：00

対象 田尻畑行政区にお住まいの方

会場 志津川西復興住宅第2集会所前発着～南三陸町内

参加 20名

町の復興の様子や他の団地の様子についても見てみたいという声があったことを受けて開催したもの。復興公営住宅や防災集団移転団地、既存住宅地の方によびかけて開催。戸倉～歌津を回るコースとした。



②椿はな咲くまちづくりお茶会

日程 11月11日（日）

会場 上山八幡宮社務所内

対象 周辺地区の避難訓練後、交流を深めるために開催した。

③町内ぐるっとバスツアー（伊里前地区）

（別紙報告参照）

日時 11月29日（木）9：00～15：00

対象 伊里前復興住宅とみねはた団地にお住まいの方

伊里前復興住宅 集会所前発着

参加 16名

田尻畑の取り組みの様子を聞き、歌津からも移動交流会をしたいという声を受けて開催したもの。役場～結の里～入谷を回るコースとした。



田尻畑行政区のみなさまへ



田内くぐるバス

バスツアーのご案内

主催
-社) 復興みなさん会

*モリバスは、
本道30高校の
生徒が運転する
ボランティア
バスです。

みなさんこんにちは
おがり秋めいてまいりましたね
今回は、バスツアーのご案内です
まずは地元を改めて目撃直していきましょう！
というコンセプトで田内をモリバスでめぐります
先着20名様限定です★

参加ご希望の方は 10/4(木)までに
申込用紙にご記入の上、西の西復興住宅の
第2集合所内に設置する専用箱に入れて下さい

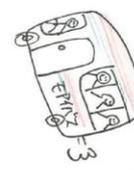
10月1日(木)
午前 8:50 集合
9:00 出発
午後 3:00 解散
参加費 100円 (保険料)
当日 集合(まちの)

申込用紙はこちら↓

10/11	お名前	ご住所(ご家族は)	TEL	生年月日
田尻畑 バス				

今回は「参加費、おら民のまちづくり支援事業」はまちの

伊里前復興住宅とその周辺にお住まいのみなさまへ



田内くぐるバス

バスツアーのご案内

主催
-社) 復興みなさん会

みなさんこんにちは
山々も赤く色づき始め 柿の実も成り
今がまた秋の行楽日和
モリバスに乗ってくぐる町を
めぐってみませんか？ お昼は、お茶のほかに茶屋です★
先着20名様 限定です (お早めにお申し込み)
参加ご希望の方は 11/22(木)までに
申込用紙にご記入の上 伊里前復興住宅
集合所内の専用箱に入れて下さい

11月29日(木)
午前 8:50 集合
9:00 出発
午後 3:00 到着
参加費 500円 (昼食代) 当日現金で

申込用紙はこちら↓

11/29	お名前	ご住所(ご家族は)	TEL	生年月日
伊里前 バス				

歌津にお住まいの皆さんと町内を巡りました!

伊里前復興住宅と
まがさわ団地のみなさん行く
④町内ぐるっとバスめぐりリッポ
レポート
2018.11.29(木) 
AM9:00 ~ PM3:00
参加者 総勢16名
一社) 復興みなさん会(金)



南三陸町本庁舎
役場を見学したり...



車窓から志津湾を
ながめました...



社協「絆の里」を
見学したり...

富山さんの
アレンジメント
♪ (18番です)



まるでどなかのお振る舞いのような 昼食風景♡



入谷
ひこの里の
干し柿をながめたり



500円で
この御膳!
ばっかり
茶屋の
美味しいもの
ばっかりです



歌津の支所にも
立ち寄りました



まるでホテルの一角のようなスペースも!!
みなさん 有効に とくじん活用に下さいネ!
今回も モアイバス さん ありがとうございました!



またぜひ
ご参加
下さい!

2-3. 情報発信・広報を通じた町民活動の支援

当方主催以外の催事についても、復興公営住宅や防災集団移転団地で開催された住民交流会等の様子取材、後述の「南三陸復興まちづくり通信」に掲載し情報発信した。通信の掲載内容を見て、団地間の交流が生まれるなどし、一定の効果があったと考えている。

①町営伊里前復興住宅



7/16 長野県飯島町マジッククラブ主催
交流会



8/22 南島原市から来訪した
中学生によるボランティア活動

②町営戸倉復興住宅



5/18 「はつらつシニアクッキング」



7/10 浄土真宗富山教区の仏教婦人会連盟
による交流会



11/24 「各地の自治体職員有志による
コンサートの会」

③町営志津川“東の東”復興住宅



7/7 ほほえみの会主催「七夕会」



8/16 盆踊り&カラオケ大会



9/5 大正大学復興支援部主催 お茶っこ



12/20 交流餅つき大会



3/17 南三陸スマイルアゲインプロジェクト
主催「歌と芝居とお団子」

④志津川中央復興住宅



5/22 なかよし会主催
「サツマイモの苗植え」



8/5 自治会主催「納涼まつり」



9/16 自治会主催「敬老会」



11/28 志津川中央・西合同交流会



12/24 「ハッピークリスマスパーティー」



1/7 カリタス南三陸ベース主催
「新年交流会」

⑤志津川西復興住宅／西ヶ丘行政区



4/14 ヴァイオリンコンサート



5/24 楽団ひとりさん「音学会」



2/8 ほっこり倶楽部主催「ひな祭り」



2/17 「ギター演奏会&軽食の集い」

⑥寄木・葦の浜団地



3/16 宮城県臨床心理士会主催
「お茶っこ飲みにございん」

⑦みねはた団地



6/17 草刈り作業



8/18 夏祭り



10/28 防火訓練



12/9 クリスマス会&忘年会



3/2 レンドリース・ジャパン主催交流会

3. 南三陸復興まちづくり通信発行

上述のような各地域の取り組みや町の復興状況を、月1回発行の「南三陸復興まちづくり通信」に掲載・情報発信した。毎号950部発行し、支援対象復興公営住宅の入居者に全員に配布した他、行政・社協等の関係機関、外部支援者等にも読んでいただけるようにした。

紙面の内容として、今年度から会員のコラム欄（雑感・編集後記）を追加し、活動するメンバーの想いがより伝わるように工夫した。

今年度は、通信を読まれた方から「自分たちのところでも交流会を実施したい」と相談が来たり、団地間で合同の交流会を持つ動きが広がったりと、情報発信による成果の水平展開に効果が出てきた1年となった。今後も継続的な発行を目指していきたい。

さらに、創刊号（2014年7月）から第50号（2018年8月）の紙面を再録した冊子「南三陸復興まちづくり通信 合冊版」をA4版、フルカラーで200部制作、全国の都道府県立図書館と宮城県内の市町村立図書館のほか、これまで当会の活動に支援いただいた全国の助成団体、町内の関係先などに寄贈した。



本活動は、以下の助成事業・補助事業の一環として実施したものである。

- ・トヨタ財団 2016年度国内助成プログラム（東日本大震災特定課題）助成金（4月～5月）
- ・平成30年度おらほのまちづくり支援事業補助金（南三陸町）（6月～3月）
- ・平成30年度みやぎ地域復興支援助成金（宮城県）（6月～3月）
- ・東日本大震災現地NPO応援基金〔特定助成〕東日本大震災復興支援JTNPO応援プロジェクト助成金（7月～3月）
- ・三菱重工 みやぎ・ふくしまミニファンド助成金（9月～1月）

① 4月 第46号発行

内容 志津川市街地の国道45号復旧開通！

ありがとう♡平成の森カフェあづまーれ！ 7年間の出会いと絆、思い出に感謝
出来立て給食を小中7校へ 学校給食センターが完成 落成式！

「歌津地区復興支援の会一燈」がネットワーク会議

志津川東復興住宅で「椿のお茶会」

② 5月 第47号発行

内容 県道弘川町向線 新ルート供用開始！／志津川東団地に高齢者生活支援施設開所！

モアイバスで椿の花流しツアー ～志津川中央復興住宅入居者が町巡り～

志津川で「池田敏美ヴァイオリンコンサート」／伊里前復興住宅で「椿のお茶会」

③ 6月 第48号発行

内容 町道3路線同時開通／復旧工事で伊里前国道45号が新ルートに

地域の復興を願い神輿巡行 歌津地区で復興記念大祭 11年ぶりに海上渡御も

「コミュニティ支援のあゆみ」刊行～7年間の活動を時系列に沿って記録～

④7月 第49号発行

内容 寄木漁港の海岸防潮堤復旧工事説明会／戸倉団地で「はつらつシニアクッキング」
公営住宅入居者が小学生とサツマイモの苗植え
楽団ひとりさんの出前音学会で楽しく交流！
高台移転みねはた団地で草刈り共同作業／復興みなさん会が社員総会

⑤8月 第50号発行

内容 「歌津復興支援の会一燈」がネットワーク会議
集会所で七夕飾りづくりに挑戦！～志津川東復興住宅で住民の交流会～
南三陸木の家づくり互助会役員会開催
J T N P O 応援プロジェクトから助成金贈呈
富山名物「ます寿司」で入居者もてなす～浄土真宗の僧侶らが戸倉復興住宅を訪問～
志津川中央復興住宅で「椿のお茶会」

⑥9月 第51号発行

内容 一般社団法人復興みなさん会に復興大臣から感謝状
被災地の復興に向けた取り組みに尽力
福島県外避難者と交流会開催／マジックショーで被災地を元気に！
戸倉復興住宅で「椿はな咲くまちづくりお茶会」
志津川中央復興住宅で「納涼まつり」

⑦10月 第52号発行

内容 南三陸消防署新庁舎着工 来年3月完成予定
集会所広場で盆踊り大会！～志津川東復興住宅で住民の交流会～
防集みねはた団地で夏祭り／南島原市の中学生が公営住宅でボランティア
福岡大生が下草刈りのボランティア作業／志津川西復興住宅で「椿のお茶会」

⑧11月 第53号発行

内容 南三陸町生涯学習センター上棟 来春完成予定
大正大学の学生が東復興住宅で住民と交流会
志津川中央公営住宅で自治会主催の敬老会
上山八幡宮 8年ぶり神輿渡御と稚児行列
戸倉復興住宅住民らがモアイバスで町巡りツアー
復興住宅入居者らが「ぐるっとまち巡りツアー」

⑨12月 第54号発行

内容 「歌津地区復興支援の会一燈」がネットワーク会議開催
志津川中央公営住宅で草刈り&芋煮交流

平成の森仮設住宅の解体撤去が完了！
志津川中央復興住宅住民らが「椿のタネひろいツアー」
高台移転みねはた団地で初めての避難・防火訓練

⑩ 1月 第 55 号発行

内容 のぞみ福祉作業所が歌津に移転 4月開所予定
志津川中央公営住宅で「お下がりくるりん会」開催
戸倉復興公営住宅で「復興応援コンサート」
伊里前復興住宅住民らがモアイバスで町内巡り
志津川東復興公営住宅で交流餅つき大会
志津川中央復興住宅公営でクリスマス交流会

⑪ 2月 第 56 号発行

内容 志津川中央と西公営住宅入居者が「交流会」
高台移転みねはた団地でクリスマス会&忘年会
「地域の暮らしを守る」先進事例の視察に参加
ハマーレ歌津の「あわび祭り」に長蛇の列！
「歌津地区復興支援の会一燈」がネットワーク会議
志津川中央復興公営住宅で新年交流会

⑫ 3月 第 57 号発行

内容 三陸沿岸道路 南三陸町内を全通 気仙沼市へ延伸！
伊里前地区災害復旧工事説明会開催
志津川西復興公営住宅集会所で交流ひな祭り
「復興まちづくり通信 合冊版」を刊行！
「みやぎチャレンジプロジェクト」へご支援を

4. 関係主体との情報交換・連絡調整

今後の支援に必要な情報・ノウハウを習得するために、他主体が主催する会議、研修・視察等に参加し情報交換を行った。

①歌津地区復興支援の会一燈 ネットワーク会議参加

当会の役員が、ネットワーク会議に参加し、情報共有した。全町的に発信すべき情報があった際には、「南三陸復興まちづくり通信」に掲載して情報発信した。

②木の家づくり互助会 定例会参加

③かもめの虹色会議 参加

④「いがす大賞」受賞報告

日程 5月9日(水)

会場 南三陸町役場

内容 昨年度受賞した「いがす大賞」について、副町長、総務課長に報告した。



⑤ヒアリング対応 (国際基督教大学)

日程 7月4日(水)

会場 東北圏地域づくりコンソーシアム 事務局内 (仙台市宮城野区)

対応 高田会員

内容 大学院生 齋藤瑠夏さんからのヒアリング。みなさん会の活動について

⑥視察研修対応 (ふくしま仙台駅前サロン)

日程 7月25日(水)

場所 志津川市街地～戸倉地区 (旧・戸倉中学校等)

参加 25名 (福島県から宮城県内に避難されている方)

対応 後藤代表理事、及川理事、畠山理事



⑦復興大臣からの感謝状贈呈

日時 8月8日(水) 午後

会場 歌津総合支所大ホール

対応 後藤代表理事、及川理事、畠山理事



⑧地星社からの取材対応

日程 10月19日(金)

対応 後藤代表理事

内容 地星社発行の「宮城県被災地・地域づくり白書2019」に収録するため、復興みなさん会の活動経緯や特徴・今後の課題についてヒアリングを受けた。当該白書は平成31年3月に発行された。

⑨視察研修「現地視察会～丸森町筆甫地区の取り組みについて知る～」

日程 12月17日(月)

主催 宮城県

参加 後藤代表理事、及川理事

内容 筆甫地区振興連絡協議会の吉澤武志事務局長から「筆甫地区の地域持続のための取り組み」についての講話を聴き、同協議会が運営する地域唯一の店舗「ふでいち」を見学した。



⑩「東北被災地語り部フォーラム2019」への講師派遣

日程 2月24日(日)

会場 ホテル観洋

参加 後藤代表理事

内容 パネルディスカッション「みんなが語り部～語ることの意味～」に、後藤代表がパネラーとして登壇し、意見を発表した。



⑪みやぎ地域復興支援助成事業 平成30年度活動報告会 参加

日程 3月19日(火)

会場 宮城県庁1階 みやぎ広報室

内容 みやぎ地域復興支援助成事業の実施内容・成果・今後の見込みについて報告した。

⑫『伴走評価エキスパート』育成プログラムへの協力

高田会員が参加した上記研修プログラムにあたり、評価対象団体として協力した。

5. 団体運営に関する事項

5-1. 総会の開催

定時社員総会を以下の通り開催した。

日時 6月24日(日) 13:25~14:40

会場 上山八幡宮 社務所

内容 平成29年度事業報告、決算について
平成30年度事業報告、予算について
役員改選について

5-2. 理事会の開催

①第1回理事会

日時 6月24日(日) 13:25~13:30

会場 上山八幡宮 社務所

内容 総会提出資料について

②第2回理事会

日時 6月24日(日) 14:40~14:45

会場 上山八幡宮 社務所内

内容 代表理事の選定について

5-3. 例会の開催

事業の進捗に関する情報共有・協議のため、会員を中心とした例会を以下の通り、19回開催した。

4月4日(水)、4月17日(火)、5月9日(水)、
5月22日(火)、6月4日(月)、6月24日(日)、
7月5日(木)、7月12日(木)、7月31日(火)、
8月28日(火)、9月11日(火)、10月4日(木)、
11月1日(木)、11月14日(水)、12月3日(月)、
1月18日(金)、2月14日(木)、3月1日(金)、
3月28日(木)

定例会の様子



5-4. 団体情報の発信

当団体の事業・運営に関する情報については、以下のホームページにて適宜情報発信した。

<http://tohokuconso.org/common/minasan/index.html>

復興みなさん会 活動の

2011

2012

2013

2014

再生・再構築
コミュニティの

仮設住宅のコミュニティづくり



仮設住宅マップ (2011)

仮設住宅敷地内の
植栽・交流活動
(2012~)



集会所でのお茶会
支援 (2011~)

復興公営住宅

●入居前からの



引越
伺

新しい町を
作っていくための
学びの場

復興てらこ屋

正しい情報を学び、復興について考える



神戸の復興に学ぶ (2012)



伊里前地区の防潮堤 (2013)

●椿はな咲く



復興てらこ屋

南三陸椿ものがたり復興

「町も家もなくなってしまったけど、
椿は根っこが強いから、津波が来て
も生き残ったんだ。でも、こんな、
おばばの言うごどなんて、誰も信じ
ねーから、誰さも、言わないでね」



情報収集
・発信

過去の被災地への視察・情報収集



雲仙 (災害遺構)
(2013)

奥尻島 (防潮堤)
(2012)



復興まちづくり推進員活動ブログ

語り



応急仮設住宅建設完了
2011.8.31

伊里前福幸商店街 (仮設) 開設
2011.12.13

災害公営住宅、防災集団移転促進事業着工
2013.2

災害公
2014.8

2011.3.11
東日本大震災発災

2012.2.25
南三陸さんさん商店街 (仮設) 開設

2013.8.1
南三陸ポータルセンター開所

2014.3
災害がれき焼却処

あゆみ (2011年～2018年)

2015

2016

2017

2018

コミュニティづくり

交流支援 (2013～)



「くらしの懇談会」
集会所の使い方 (2014)



し体験談を
う (2016)

●入居者自治会の設立・運営サポート (2014～)



くまちづくりお茶会 (2012～)



●椿の避難路 づくり (2012～)



「南三陸町ワークショップ椿—花咲く町をつくろう」(2012)



部活動 (2011～)



復興まちづくり通信 (2014～)



情報発信

復興マップ
(2015～)



一般社団法人復興みなさん会 南三陸町志津川 復興公営住宅入居者の
本吉郡南三陸町 引きこもりを防ぐ、外出・交流支援事業

主たる事業所の所在地および連絡先
住所：宮城県本吉郡南三陸町志津川字
上の山26上山八幡宮社務所内
電話：070-5472-5930
メール：minasan.msrk@gmail.com
HP：http://tohoku.coons.org/ommon/
minasan/index.html

活動の背景やきっかけ

2011年10月の設立直後から、植栽活動やマップづくり、お茶会、復興事業に関する学習会「復興てらこ屋」などの活動を通じて、仮設住宅・復興公営住宅の入居者間の交流を促し、コミュニティ形成を支援し、復興事業への参加機会を確保してきた。特に2014年度後半からは、復興公営住宅入居予定者の事前交流会、入居者自治会の設立支援、自治会設立後の伴走支援の取り組みを町役場や社会福祉協議会、復興に関わるコンサルタントなどと連携し行ってきた。

また、復興について話し合う「公式」な場には参加しにくいと感じている女性、高齢者層にも気軽にまちづくりに参加してもらおう機会として、南三陸町内に多く自生し、その実からとれる椿油が生活に使われるなど、町民の記憶に様々な形で残る「椿」をシンボルとしたお茶会（椿はな咲くまちづくりお茶会）やお花見、種拾い、育苗・植樹などを行うまちづくり活動「南三陸椿ものがたり復興」を並行して展開してきた。

さらに、会の活動の様子や町の復興状況、町民の取り組みの様子などを伝えていくため、2014年7月から『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行、復興公営住宅入居者や、行政・社協などの関係機関、外部支援者などに配布している。地方紙にすら、南三陸の復興の状況がなかなか掲載されなくなった現在、町内の復興状況について知ることのできる貴重なメディアとして浸透している。



仮設住宅での植栽活動（2012年頃）



椿油を使った料理を楽しむ交流会



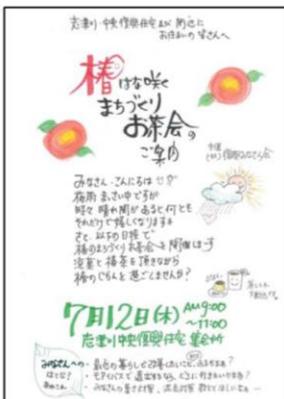
一般社団法人復興みなさん会 南三陸町志津川 復興公営住宅入居者の
本吉郡南三陸町 引きこもりを防ぐ、外出・交流支援事業

主たる事業所の所在地および連絡先
住所：宮城県本吉郡南三陸町志津川字
上の山26上山八幡宮社務所内
電話：070-5472-5930
メール：minasan.msrk@gmail.com
HP：http://tohoku.coons.org/ommon/
minasan/index.html

実施した活動と助成金をどのように使ったか(1)

(1) 椿はな咲くまちづくりお茶会

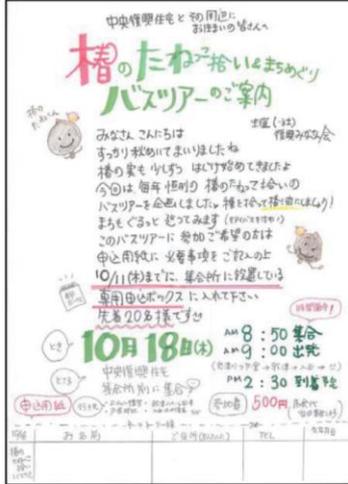
復興公営住宅入居者がふらっと気軽に出てこられる雰囲気のスロンを自治会等と連携して開催した。



実施した活動と助成金をどのように使ったか(2)

(2) 移動交流・外出支援活動

町教育委員会の無償貸切バス「モアイバス」を活用した外出・レクリエーション活動。



(3) 「南三陸復興まちづくり通信」を通じた
情報発信・地区を超えた情報共有

毎月950部発行し、各団地等に配布。



活動を通じた成果、地域・住民の変化は

○事業開始時

- 「自治会」の捉え方に、入居者内でも差があった。
震災前の集落の在り方に戻す ⇔ 仮設住宅時代の交流機能を持った新しい自治会へ
自治会設立時に感情的な対立が見えた地区も。

○対策

- 入居者・当事者ではない、第三者による関わり。
← 住民間の意見の相違・対立に触れない形で交流機能が提供できる。

○現状

- 自治会や入居者有志が主導して、地域の交流機能や見守り（通学路等）活動が動き出した。
→ 後は、自走に向けた支援に移行

今後の活動や目標

○活動の水平展開を

- 復興まちづくり通信
他団地の活動を知ることができるツールとしても重要に。競い合ってコミュニティを活性化できるところ
までいければベスト。
- 他団地への支援 自治会の自走まで、しばらくかかりそうな団地に重点化。
- 自治会長（や、活動の核になる役員）どうしの交流も大切になっていく。

1-団体の紹介

- 震災により壊滅的な被害を受けた南三陸町において、被災した町民間の絆の再生やコミュニティの再構築が南三陸町の本質的な復興まちづくりに向けた大きな礎になるとの信念の下、仮設住宅単位や元の集落単位、新たにできる団地単位等、**多様な形のコミュニティ活動を活性化して町の復興に資する**ことを目的として2011年10月発足。



2-助成事業の紹介

- 戸倉復興公営住宅集会所を活用した、外部支援者による交流支援活動コーディネート
 - 復興支援の「ご縁」をつなぎ続ける
 - 「交流」による活性化
- 借り上げバスによる移動交流活動
 - 移動困難者向け外出支援活動
 - 町の無料貸切バス「モアイバス」を活用
- 活動の情報発信を通じた、他団地への波及



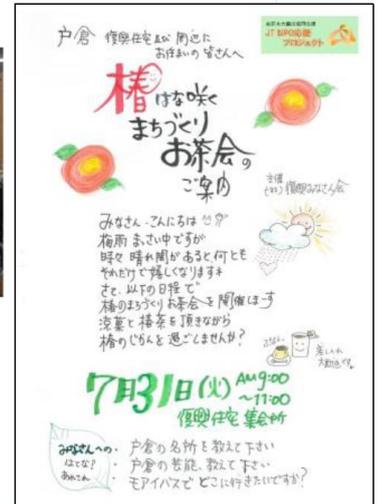
3-上半期（2018/7～12）の進捗状況

・戸倉復興公営住宅集会所を活用した、外部支援者による交流支援活動コーディネート（計画＝月1回程度）

- ・ 当方主催の交流会 1回
- ・ 外部支援者のコーディネート 4回
（夏季～秋季 外部支援が多い）
- ・ 広報支援 2回



交流会の参加者は限られるので、事前（チラシ配布）や、事後（結果報告）の広報を重点化。復興公営住宅や隣接する防災集団移転団地への情報共有に寄与。



3-上半期（2018/7～12）の進捗状況

・借り上げバスによる移動交流活動

町の無料貸切バス「モアイバス」を活用した移動困難者向け外出支援活動

当初計画＝月1回程度

上半期 1回開催（9月）

震災後、自分の出身集落には行ったことがない（見たことがない）という方がいる。



戸倉地区がどう復興しているか、「マップづくり」を通じて支援することに。

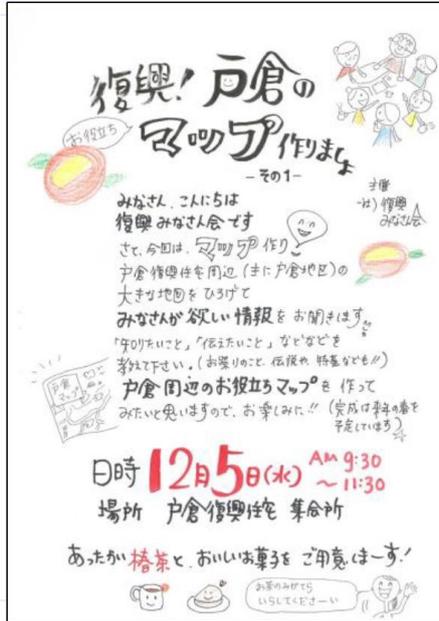


3-上半期（2018/7～12）の進捗状況

・「戸倉マップ」づくり

- 第1回 12月5日 開催
- ・知りたい情報
 - 地域への関心喚起
- ・震災前の戸倉
 - 震災で断絶した時間軸の再生
 - 地域への誇りをとりもどす。

次回、3月5日（予定）



3-上半期（2018/7～12）の進捗状況

・活動の情報発信を通じた、他団地への波及

南三陸復興まちづくり通信
月1回
950部発行

- ・他団地の活動の様子を知る
- ・自分たちの活動が取り上げられることの喜び
- ・欠席者への訴求



4-見えてきた課題

- 当初想定したより、仮設住宅時代からのつながりを活かした外部支援者の活動が続いていたことは、安心要素。
- 一方で、受け入れる復興住宅自治会の状況については、不安が残る半年。
- 戸倉復興住宅には、町社協によりL S A（生活援助員）2名配置。集会場の管理運営の実質的な部分をL S Aが担っていることから、外部支援者の活動受け入れについても、L S Aが窓口になっている傾向。
- 県・町の復興期間が残り2年となる中で、L S Aの配置が永続することはない。今L S Aが担っている調整機能を、徐々にでも自治会に移行していく必要があるが、兆候は見られない。L S Aがいるうちは、お願いすればよい、という、ある意味依存にも似た関係性が固定化。

5-下半期への抱負

- 従来から地域に内在し、震災がなければ十年～数十年かけてじわじわと表出してくるはずだった問題が、この数年で一気に出てきてしまった。
- 孤立や引きこもりになりつつある方々に、まずは相互に交流の機会を持つていただけるように引き続き支援する。（集会所での交流会、バスによる移動交流会）
- 震災前とは大きく変わってしまったが、自分たちの暮らしてきた地である「戸倉」を改めて見直し、外部に発信していくための「戸倉マップ」づくりを活動の切り口にしていきたい。



南三陸町

人と人の関係を丁寧に紡ぎ、 主体性を活かしたコミュニティづくりに取り組む

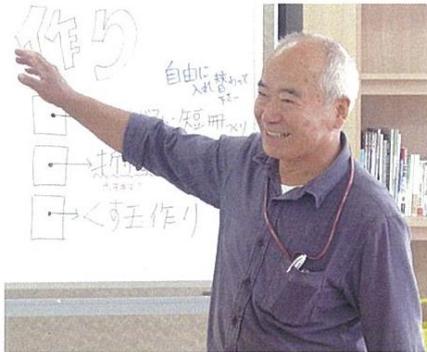
人が関わり、コミュニティが生まれる場を丁寧に作っている復興みなさん会。
復興のフェーズが移りゆく中で大切にしてきたことや、
町民の立場で取り組むからこそ感じる現在の課題について伺った。

○話し手：後藤一磨さん・取材日：2018年10月19日

一般社団法人復興みなさん会

○団体概要

設立	2011年10月(2014年5月、一般社団法人化)
代表者	代表理事 後藤一磨
所在地	南三陸町志津川字上の山26 上山八幡宮社務所内



代表の後藤一磨さん

○活動年表

年	主な出来事
2011	<ul style="list-style-type: none">宮城大学が復興まちづくり推進員(以下「推進員」)4名を南三陸町に配置推進員メンバーを中心に町民有志で「復興みなさん会」設立復興先進地への視察研修スタート仮設住宅内のコミュニティづくりスタート(～2013年)情報発信活動スタート復興てらこ屋スタート(～2013年)
2012	<ul style="list-style-type: none">住民の話し合いの場づくり・合意形成支援スタート(～2016年)「南三陸椿ものがたり復興」スタート
2013	<ul style="list-style-type: none">復興公営住宅入居予定者向け「くらしの懇談会」スタート(～2017年)
2014	<ul style="list-style-type: none">一般社団法人化復興公営住宅の自治会づくりのサポートスタート「南三陸復興まちづくり通信」発行スタート



多様な主体と連携し、復興まちづくりについて話し合う場をサポートした



津波の避難路沿いに椿を植えていくための育樹作業を実施。椿をテーマに、交流会やバスツアーなどたくさんの活動が生まれた

同じ立場で、自分ごととして課題に取り組む

復興みなさん会（以下「みなさん会」）は、2011年10月に任意団体として設立されました。宮城大学が設置した復興まちづくり推進員（以下「推進員」）のメンバーを中心に活動を続け、2014年5月には一般社団法人となりました。

推進員としてまず取り組んだのは、仮設住宅の地図づくり。住民にとって大切な、知り合いがどこの仮設住宅に入居したのか、隣近所にどんな人が住んでいるのかなどの情報を知ってもらうための取り組みです。個人情報保護の観点で行政から情報を頂くことはできず、一軒一軒趣旨を説明し、掲載の了解を得ながら進めました。

他にも、椿をテーマにしたまちづくりとして「南三陸椿ものがたり復興」、毎月発行している「復興まちづくり通信」、外部支援者のコーディネート、復興まちづくりに関する対話の場づくりなどの活動もしてきました。

メンバーは全員被災者なので、町の出来事を「自分たちのこと」として捉えています。小さな町なので町民のこともよく知っており、個々の人柄や

人間関係を理解しながら活動ができました。

地域のマップづくりでコミュニティ形成

私たち被災者は、これまで何度も住居を移し、コミュニティの分断と再生を繰り返してきました。震災当日に高台へ逃げた一次避難。町の行政機能を再建するために、町民がいったん近隣の市町へ移動した二次避難。さらに、避難所から仮設住宅、仮設住宅から復興公営住宅へと移りました。その過程では、住民の希望は考慮されたものの、入居する住宅が抽選で決められたこと、高齢者や障害者など、よりよい環境への移動を急ぐ人たちから完成した住宅に申し込んでいったことなどにより、やっとできたコミュニティがまたばらばらになる状況が繰り返されました。

復興公営住宅に入居すると、地域のことをよく知らないまま新生活が始まります。震災前から暮らしている被災していない地域住民と、新たに移り住んだ被災者との交流も課題でした。そこで取り組んだのが、地域のマップづくり。みんなで相談し、買い物やお祭りの情報、「この辺りは日陰だから、冬になると滑るんだよ」といった生の声

など、地元の人しか知らない情報も盛り込んでいきました。共につくることを通して徐々に住民同士の関係性もできていき、コミュニティ形成につながりました。完成したマップは手描きの温かい雰囲気、地元の人からも好評になり、地区全体に全戸配布した地域もあります。

高齢化など様々な問題がある中、住民同士で支え合うには、地域全体として考えなければなりません。いかに地域でひとつのコミュニティを作り上げていくか。マップ作りや住民交流のためのイベントなどを通して、現在進行形で取り組んでいる課題です。

コミュニティづくりの原点は、 人と人のつながりを丁寧にすること

住民交流のイベントには、行きたい場所をみんなで決める遠足のようなものもあります。家に引きこもりがちな方にとって、外出のきっかけになっています。外へ出ると気持ちも晴れますよね。楽しい経験を重ねて人間関係ができていき、当初は人と会うのが嫌だったという方もだんだん外に出る機会が増えるようになります。「グラウンドゴルフ一緒にやんねが？」など、住民同士で



火砕流で被災した小学校。過去の被災地での視察を次の活動へ活かした

声を掛け、誘い合う状況が生まれました。

「このままずっと家にいると、病気になるぞ」という働きかけでは、なかなか家の外に出ようと思ってくれません。参加してみたいくなる企画が必要です。さらに言えば、「人と人との結びつき」をどうつくるかを考えることが、コミュニティづくりの原点です。活動を共にすると共通の目標もできます。力を合わせて取り組むのは、とてもよい体験になります。

コミュニティは人がつくるもの。人と人が関わり合い、お互いを知るプロセスを丁寧に重ねていくことが「コミュニティの再生」だと思います。「自分の居場所」だとみんなが思えれば、関係性も良くなってくる。その先に自治や自立があるのではないのでしょうか。

自立とは何か

私たちは、町民同士で支え合いの関係ができる地域づくりをしていきたいと思っています。その過程では、住民が「支援を受けている」と感じるものではなく、「イベントに参加している」「一緒に楽しく活動している」というほどよい関係性をつくることを大切にしています。



町役場主催「くらしの懇談会」の開催をサポートした

「自立が大事」と言われますが、自立とは何かと考えたときに、尊厳を大切にすること、できるところまで本人が自分でやりながら、それを支えるしくみをつくっていくことが重要です。「支え」を取り除いた瞬間に、魂の自立までも奪ってしまうようなことが起きてはなりません。支援を受けることで卑屈になってしまうものではなく、ご本人の主体性を持った生活を陰で支える。支えつつも、その存在を感じさせないサポートを。そのしくみをいかにつくるかがポイントだと思っています。

町全体の未来像をどう描くか

これまでの成果は、公営住宅の自治会が立ち上がり、活動を始めている点ですが、自治会支援では課題もあります。自治会は、様々な地域から寄せ集めで入居し、その職業もばらばらな住民の中で、顕在化してくる課題にどう取り組むかを考える役割を担っています。家賃徴収のためだけの組織ではありません。高齢者も多く、今後自治会役員がさらに年を重ねてリーダーとしての動きができなくなってきた時、いかに若い人たちから後継者を見つけていくのかも課題です。

復興公営住宅は、入居条件が緩和され被災者以外も入居できます。それにより移住してきた若い世代も入れるようになりました。ただ、環境も景色も良いからと町を気に入ってくれたとして、産婦人科も小児科も、また仕事の保証もないところで生活を続けられるでしょうか。町の復興はどこまで進んでいるのか。新しい道路がどんどん出ていますが、産業や生活インフラはどうでしょう。医療、教育、日常の買い物の不便はないのか。そう考えると、とても「復興」とは言えない現状です。町全体の未来像をどう描いていくのかが、現実的な問題となっています。UIターンなどで町に集まってきている人、そしてまだ町には来ていないけれど将来的に地域を支える人など「交流人口」も含め、いかにこの町に新しい人材を呼び込むかという点も、今後取り組んでいきたい課題です。



復興公営住宅入居者や周辺地域住民と一緒に、地域のお役立ちマップを作成した



吉野復興大臣から感謝状を受け取る代表者

復興大臣から感謝状
 気仙沼市「活動の励み」と8団体
 南三陸町

吉野正芳復興大臣が、各イベントの運営な
 8日、南三陸町を訪れ、被災地で活動を続
 れ、被災地で活動を続「ふっこう青年会の工藤
 ける気仙沼市や南三陸 大樹会長（36）は「民
 町の団体に感謝状を
 贈った。

贈られたのは、コ
 ミュニティー支援やま
 ちづくり、震災体験や
 教訓の伝承などに取り
 組んでいる気仙沼市、
 南三陸町、登米市の計
 9団体。贈呈式は町役
 場歌津総合支所で行わ
 れた。

吉野復興大臣は「皆
 さんのような支援が
 あったからこそ、ここ
 まで復興が進んでい
 る。大臣として感謝の
 やきジョネット（南三
 陸町）
 たえた。

（気仙沼市）南三陸ホ
 テル観洋、ウィメンズ
 アイ、佐良スタジオ、
 復興みなさん会、南三
 陸ふっこう青年会、み
 やぎジョネット（南三
 陸町）

広報南さんりく 2018年9月1日号

復興への取組に感謝

～復興大臣から感謝状贈呈～



8月8日(水)、被災地の復興に大きく貢献した事業所や団体に復興大臣からの感謝状贈呈が行われ、本町から6つの事業所・団体が表彰されました。

吉野正芳復興大臣は「皆さんのお陰で素晴らしい復興を成し遂げています。被災者と行政だけでは、ここまでの復興はできませんでした。皆さんのように支援をしてくれる人がいたからこそ、ここまで復興が円滑に進んだと思います。本当にありがとうございました」と感謝の言葉をかけられました。

受賞された皆さん、おめでとうございました。

【受賞者一覧】

- ・株式会社阿部長商店南三陸ホテル観洋
- ・特定非営利活動法人ウィメンズアイ
- ・佐良スタジオ
- ・一般社団法人復興みなさん会
- ・南三陸ふっこう青年会
- ・みやぎジョネット

宮城



語り部活動を紹介する南三陸町立入谷小の佐藤光莉さん(左)と南三陸町の語り部活動を紹介する南三陸町の佐藤光莉さん(右)。



東北被災地語り部フォーラムが24日、南三陸町の南三陸ホテル観洋で開かれた。約400人の参加者を前に、語り部活動を続ける各地の団体などが取り組むを紹介し、語り継ぐことの意義について意見を交わした。

大震災の教訓 人から人へ

継承の困難さも報告

南三陸で語り部フォーラム

「東北被災地語り部フォーラム」が24日、南三陸町の南三陸ホテル観洋で開かれた。約400人の参加者を前に、語り部活動を続ける各地の団体などが取り組むを紹介し、語り継ぐことの意義について意見を交わした。

パネルディスカッションでは、岩手県沿岸を走る三陸鉄道(宮古市)の旅客営業課長二橋守さんが、被災時の状況を学ぶ「震災学習列車」を運行していること

を紹介。「震災の教訓を後世、特に次代を担う子どもたちに伝えることが社の使命」と語った。乗車した参加者には「この列車は『お涙ちょうだい』でなく、みなさんの防災に役立てるためのものです」とあえて説明しているという。

震災の記憶の継承が難しくなっているとの意見も相次いだ。南三陸町で語り部ガイドを務める後藤一磨さんは、ガイドの依頼が近年大幅に減っているとし、「震災から8年、語り継いでいくことがおぼろげになっ

ている」と指摘した。同町出身の山内明美・宮城教育大准教授は「風化が激しい中、少数者である語り部には『まだ続けているのか』という風当たりもある。ここでなくなると、次に何かあった時のために経験を語り継がない」と強調した。

フォーラムは、宿泊客らを対象に「語り部バス」などを続ける同ホテルが主催した。この日は、地元の小学生たちが自身の体験を発表。町立入谷小5年の佐藤光莉さんは「祖母と曾祖母を奪った東日本大震災を忘れたくありません。経験した私たちが未来に語り継いでいかなければなりません」と訴えた。

(高橋昌宏)

希望伝える語り部に

南三陸町東北被災地フォーラム



語り部の意義などを語ったパネルディスカッション

災害伝承や現状の発信など、語り部が持つ役割を考える「東北被災地語り部フォーラム」が24日、南三陸ホテル観洋で開かれた。東日本大震災をはじめ、阪神・淡路大震災などの被災地で活動する語り部ら約400人が集まり、語り継いでいく意義を学び合った。フォーラムはホテルが主催し、今回が2回目。オープニングでは入谷小5年の佐藤光莉さん、志津川小6年の佐藤ひま里さんが「災害を知らない世代へ伝えることが大切」などと、語り部について話した。熊谷心さんは「震災の風化が進むと、『まだやってるの』という風当たりは強まるが、語り部がいなくなれば、経験を語り継ぐことはできない」と重要性を強調した。

語り部の意義などを語ったパネルディスカッション。宮古市の三陸鉄道旅客営業課長の二橋守さんは、教育旅行向けに提供している震災学習列車の取り組みを紹介。「自分で自分の命を守る強い子供たちになってほしい」と語った。南三陸町出身で、宮城教育大准教授の山内明美さんは、「震災の風化が進むと、『まだやってるの』という風当たりは強まるが、語り部がいなくなれば、経験を語り継ぐことはできない」と重要性を強調した。

「何のために、誰に、階上まちづくり協議会語り部部会事務局の熊谷心さん(36)は、何を伝えるかが重要だと感じた」と話した。

進捗や身近な話題細かく

南三陸復興まちづくり通信 50号までの合冊版製作

南三陸町の一般社団法人「復興みなさん会」が、2014年から発行している「南三陸復興まちづくり通信」の1号から50号までをまとめた合冊版を製作した。月1回発行されるまちづくり通信には、復興事業の進捗（しんちよく）や災害公営住宅での親睦会など身近な話題を細かく



製作された合冊版と今月号のまちづくり通信

掲載しており、町民に希望を届けている。復興みなさん会は、東日本大震災直後の11年8月に町内の被災者で結成。被害を受けたコミュニティの再生支援を目的に、仮設住宅に誰が住んでいるかを示すマップづくりや集会所でのお茶会などを企画してきた。まちづくり通信は、

14年の法人化を機に、活動の様子や南三陸の復興の過程を町内外に伝えるため、14年7月から発行を開始。会員が取材と編集を担当している。A4判でカラーの両面刷。創刊号では、志津川小仮設住宅と平成の森仮設住宅の集会場で開いたお茶会の話題

のほか、町内で最も早く完成した防集藤浜団地で進む住宅建設の様子などを掲載。50号を発行した18年8月までに、町内の復興がどのように進んできたのかを振り返ることができた。震災後は情報が少なく、そのことが住民の不安にもつながっていた」と及川さん。情報を届けることも、復興の過程を記録することが大切だと感じていたという。57号となった今月号には、先月、町内の整備が完了した三陸道の開通の話題を掲載した。及川さんは「時間がたつと忘れがちになる当時の気持ちを思い出すためにも合冊版をつくった。南三陸が完全に復興するまで身近な情報を継続して届けたい」と話している。